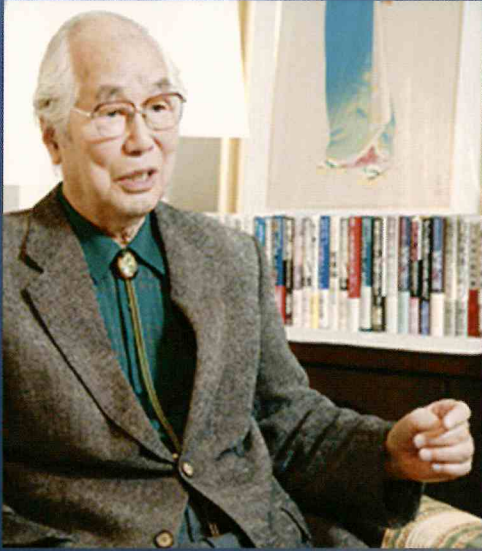




看護学部開設  
20周年記念公開講座



講師

うえのまさひこ  
上野正彦先生

1929(昭和4)年、茨城県生れ。医学博士。法医学評論、元東京都監察医務院院長、杉並精神障害者グループホーム渚運営委員長。日本文学家協会。東邦医科大学卒業後、日本大学医学部法医学教室を経て、1959年に東京都監察医務院監察医となる。1984年から同院長となり、1989(平成元)年退官。退官後に出版した『死体は語る』は100万部を超える大ベストセラーになった。現在は法医学評論家として執筆、TV出演など、多彩に活動している。広島文化学園大学大学院看護学研究科客員教授。

主な著書 『死体は知っている』『解剖学はおもしろい』『死の雑学』『死体は悩む』など多数。

# 尊厳死、安楽死、 終末医療を考える

演奏者



広島文化学園大学 学芸学部 音楽学科

HBGプラスアンサンブル

2018年

10月12日(金) 開場/12:30

参加費 無料

音楽演奏会 13:20~13:50

公開講座 14:00~15:30

呉市文化ホール

〒737-0051 呉市中央3丁目10番1号 ☎0823-25-7878



主催：広島文化学園大学看護学部

共催：呉市・呉市教育委員会

後援：文部科学省選定広島文化学園大学研究ブランディング事業  
広島文化学園大学学芸学部 広島文化学園生涯学習センター

お問い合わせ先

広島文化学園大学 呉阿賀キャンパス

TEL.0823-74-6000